



身体の病気と歯科との関係

骨の病気

骨粗鬆症と歯科治療④

歯科医師 東海林 克

前号の「骨粗鬆症の症状」で述べた通り、骨粗鬆症は進行すると転倒や骨折を起こしやすくなります。その後の「OCT」を著しく低下させます。今回は骨粗鬆症の進行によって起こる骨粗鬆症性骨折についてその概要をお話ししていきたいと思えます。

◆骨粗鬆症とは

◆骨粗鬆症で折れやすい部位

骨粗鬆症によって骨折を起こしやすい部位は、「背骨(脊椎椎体:せきついついたい)」、「脚の付け根(大腿骨近位部:だいたいこつきんいぶ)」、「手首(橈骨:とうこつ)」、「腕の付け根(上腕骨:じょうわんこつ)」です(左下図参照)。体の中で折れやすい部位は、年齢によって病状が変化することにもなっており変わってきます。50歳代頃から、前腕骨の手首部分である橈骨や脊椎の骨の主要部である椎体骨折しやすくなります。60歳代頃から椎体骨折が増え始め、70歳代になると前腕部の骨折よりも椎体骨折が上回るようになります。さらに72〜73歳頃から大腿骨(太ももの骨)近位部の骨折が前腕部を



上回るようになり、75歳以上で急激に増加します。この他では、上腕骨も好発部位のひとつです。

◆骨折を起こす骨について

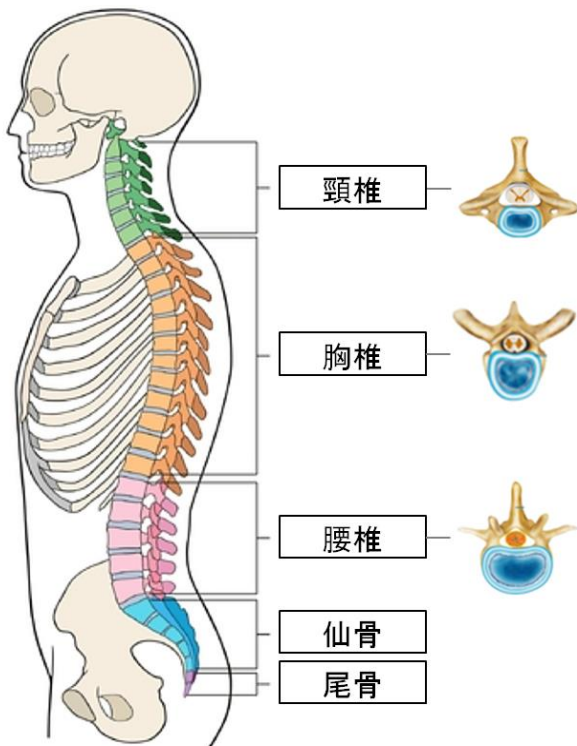
① 脊椎椎体
骨折を起こす部位の1位である背骨の「脊椎椎体(せきついついたい)」ですが、一般に「背骨(せぼね)」と呼ばれる「脊椎(せきついつい)」は、首から骨盤までである。

骨折しやすいところ



引用文献(1)より引用

脊椎を構成する骨について



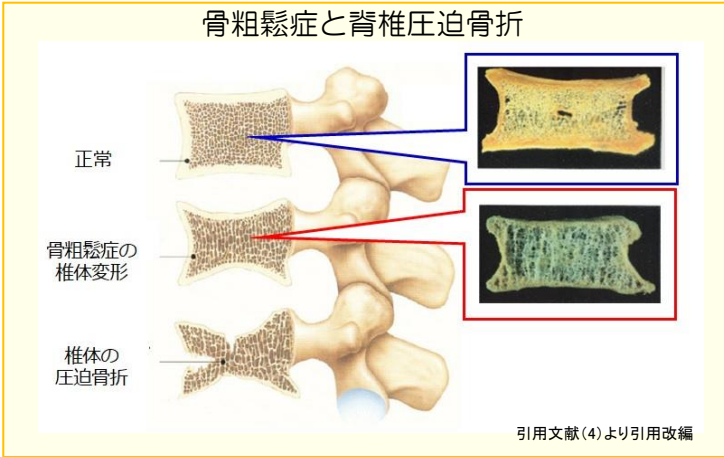
引用文献(12)(13)より引用経緯

・ 椎骨の基本的な構造

5種類の椎骨はそれぞれに異なった形態をしています。その中でも胸椎は、椎骨に共通する基本形態をもった典型的な形をしています。

「椎骨(ついつい)」という骨で構成されています。椎骨は全部でおおよそ33個あり、上下で連結してできています。椎骨は、首の骨である「頸椎(けいついつい)」が7つ、背中の骨である「胸椎(きょうついつい)」が12個、腰の骨(である)「腰椎(りょうついつい)」は5つ、そのほかに「骨盤(こつぱん)」を構成する骨である「仙骨(せんついつい)」と「尾骨(びこ)」に分けられます。

胸椎の「椎体」は、椎骨の前方(お腹側)に位置している円柱状の部分で、脊椎の中軸的な支持構造です。椎体の後ろ(背中側)に位置するアーチ状の部分が「椎弓(ついきゅう)」で、椎体と椎弓の間は、「椎孔(ついきう)」といい、「脊柱管(せきちゅうかん)」が通っていて、管の中には脳から身体の各部位を調整するとともに、身体の各部位からの信号を脳に伝える「中枢神経(ちゅうしゅうしんけい)」である「脊髄(せきずい)」が通っています。椎弓からは、「棘突起」、「横突起」、「上関節突起」、「下関節突起」など、4種7個の突起が出ます。



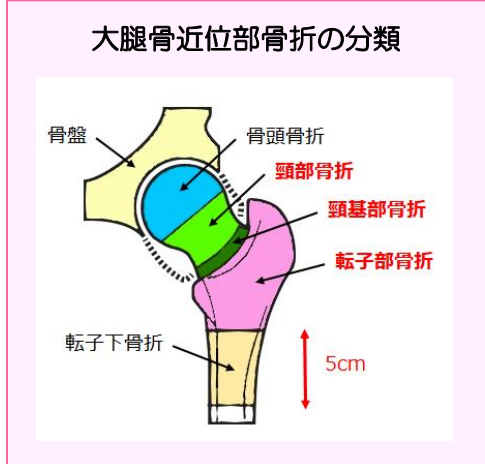
引用文献(4)より引用改編

・ **椎骨の骨折要因**
 椎骨で骨粗鬆症に伴って「骨梁(こつりよう)」の減少が起こり、変形や骨折を起こす部位は、「椎体(ついでたい)」です(左上図参照)。骨折の受傷の要因としては、転倒やしりもちだけではなく、くしゃみやする、重いものを持ち上げる、身体をひねるなどの動きをただけでも起こることがあります(下図参照)。

② 大腿骨近位部
 骨粗鬆症で骨折を起こしやすい部位の2位は「大腿骨(だいたい)」

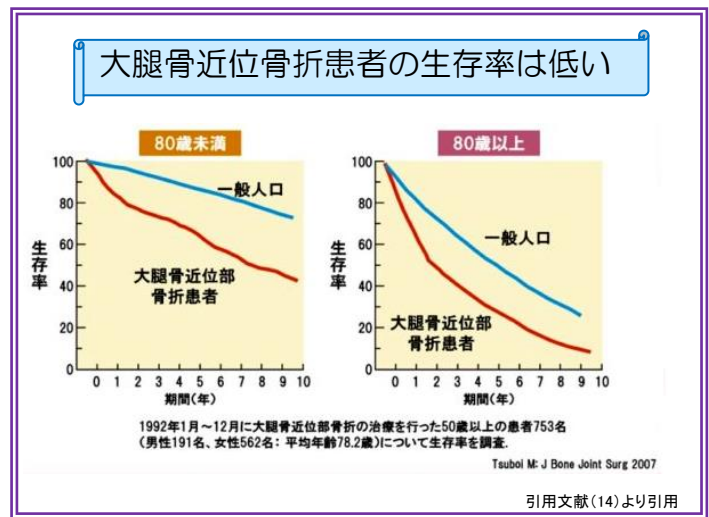


つ)」です。ヒトの大腿骨は身体の中で最も長い骨で、足の付け根から膝までの部分にあります。足の付け根側では「股関節(こかんせつ)」をつくり、反対側では「膝関節(ひざかんせつ)」をつくっています。大腿骨の中で骨粗鬆症によって骨折をきたしやすい部位は、「大腿骨近位部(だいたいこつきんいぶ)」です。「近位部」とは「股関節」を形成している部分のことで、大腿骨の「骨頭(こつとう)」、「頸部(けいぶ)」、「転子部(てんしぶ)」が含まれます(詳細は左下図参照)。多くの場合、大腿骨近位部骨折は頸部と転子部でおこり、頸部骨折と転子部骨折に分類されます。大腿骨近位部の骨折は、高齢者において脳血管障害に次いで寝たきりの第2位の原因となっています。骨折した人のうち20%は、受傷後1年で



亡くなるともいわれています。さらに残りの大半の方も骨折をきっかけに寝たきりになることが多く、骨折が老化の進行が早めることで認知症などを発症して亡くなるとされています(左下図参照)。

・ **大腿骨近位部骨折の骨折要因**
 骨粗鬆症になることで骨の強度が落ちているので、衝撃が加わることで容易に骨折を起こします。骨折があっても歩行が可能なことや、高齢の方では明らかな外傷がないこともあり、注意が必要で、受傷原因で多いのはつまずいて転倒することで全体の85%を占めるといわれます。ほかにはベッドなどから転落すること起こります。



- 《引用文献》
- (1) Iihone いいほね JP 骨粗鬆症に関する情報発信ホームページ
 - (2) Medical Note 骨粗鬆症 サイトホームページ
 - (3) Tanahata's ハンドメイド教材の部屋 ホームページ
 - (4) 高杉内科外科小児科脳外科 ホームページ
 - (5) いしずえ整形外科 ホームページ
 - (6) 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 ホームページ
 - (7) 医療法人 賛健会 城内病院 ホームページ
 - (8) せぼねと健康.com ホームページ
 - (9) 公益財団法人日本医療機能評価機構 Minds ガイドオンラインフライヤー ホームページ
 - (10) しばた地域医療介護連携センター ホームページ
 - (11) Well come to 佐野内科ハートクリニック ホームページ
 - (12) 脊椎手術.com サイトホームページ
 - (13) さいた整形外科クリニックホームページ
 - (14) 群馬リハビリテーション病院 ホームページ